

ボーイの聖地、富川、2024年パリオリンピックでBボーイ 正式種目としての採用に歓迎 パリオリンピックで、富川からブレイキング部門の金メダルを確信・期待



12月8日（韓国時間）、オンラインで国際オリンピック委員会（IOC）の理事会にてブレイキングを正式種目として採用したことに対して、富川市が歓迎の意向を示した。

ビー・ボーイングやブレイクダンスとも呼ばれているブレイキングは、Bボーイが1対1で踊って勝敗を決めるダンスの種目である。ブレイキングは、2018年ブエノスアイレスで開催されたユースオリンピックで成功的な試行運営の結果を基に、2024年パリオリンピックから正式種目として採用される。前回のユースオリンピックで、富川市の積極的な支援で、富川市の文化広報大使の「JINJO CREW」が代表団を引率して参加し、銅メダルを獲得したこともあって、その意味は大きい。

一方、富川市は、2012年度から、Bボーイの聖地と名乗っており、様々なプログラムや韓国・国際大会を進めてきた。2014年富川国際Bボーイ大会を皮切りに、2016年度からは、世界中のBボーイから大きな反響を得た、韓国唯一の世界大会である、富川世界B-boy大会(BBIC)が毎年開かれている。世界初の5大メジャー大会を席卷して、世界ランキング1位を維持しているJINJO CREWと共に出した成果である。

特に、第5回富川世界B-boy大会は、新型コロナウイルスの影響にも関わらず、富川市と主管団体のJINJO CREWが協力して、オンラインで安全に開催されたことで世界中のBボーイから絶賛を受けた。

オリンピックの正式種目としての採用に大きな役割を果たしたJINJO CREWの団長は、「正式種目としてのブレイキングの採用は、もう予想できていたこと」と明かし、「2024年パリオリンピックでは、良い成績を残すことができるように、先頭に立って最善を尽くしたい」と述べた。

張徳天富川市長は、「オリンピック正式種目としてのブレイキングの採用は、今までの富川市とJINJO CREWが共に努力して出せた成果である」と明かし、「今後も興味を持ち続け、支援を惜しまず進めていきたい」と述べた。